記者発表資料

平成２３年　９月２１日
国土交通省　青森河川国道事務所

馬淵川水辺の楽校で「コモチカワツボ」を確認
～　昨年の駆除実施後、今年初めて確認されました　～

昨年７月に馬淵川水辺の楽校（国道104号大橋下流右岸）のせせらぎ水路内において、大量発生が確認された外来種の巻き貝「コモチカワツボ」について、昨年９月、焼却駆除等の対策を行い、今年の４月、７月のモニタリング調査の結果、これまで生息個体が確認されておりませんでした。

しかし、９月８日に継続したモニタリング調査を実施した結果、「コモチカワツボ」が３０個体程度、確認されました。

せせらぎ水路における、生物の持ち込み、持ち出しをしないようご協力をお願いします。

【これまでの対応概要】

平成２２年９月１７日	通水停止
平成２２年９月１７日１８日	駆除作業
平成２２年９月２４日	追加駆除作業
平成２２年９月３０日	通水再開
平成２２年１２月１日～２３年４月１８日	通水停止（水路凍結）
平成２３年４月１９日	通水再開
平成２３年４月２７日	水辺の学校（右岸）利用可能
平成２３年７月２０日	モニタリング調査

【今後の対応】

今回のモニタリング調査結果、生体が確認されたことで、モニタリング調査の継続、繁殖の状況を注視するとともに、今後、生物の持ち込み、持ち出しをしないよう監視に努めてまいります。

■ 添付資料　：　参考資料－１　これまでの対応経緯
　　参考資料－２　「コモチカワツボ」生息分布モニタリング調査結果

記者発表先：青森県政記者会、建設関係専門紙、津軽新報社

【問い合わせ先】
国土交通省　東北地方整備局　青森河川国道事務所
住所：青森市中央三丁目２０－３８
電話：０１７－７３４－４５２１（代表）
副所長（河川）　小山（おやま）　幸男（ゆきお）（内線２０４）
調査第一課長　　福田（ふくだ）　修（おさむ）（内線３５１）

参考資料－１

これまでの対応経緯

日付	実施内容	概要	コモチカワツボの生息状況
22．7．17	モニタリング調査（通水停止）	生息分布を調査	確認
22．8．30	モニタリング調査	通水停止後調査	確認されず
22．9．2	第1回検討会	駆除対策方針検討	－
22．9．12～13	モニタリング調査	駆除作業前	確認されず
22．9．17～18	駆除作業		－
22．9．18	モニタリング調査	駆除作業後	確認されず
22．9．24	追加駆除作業 、モニタリング調査		確認されず
22．9．30	通水開始	調査の結果	－
22．10．7	モニタリング調査	通水一週間後	確認されず
22．10．18	第2回検討会	駆除効果確認	－
22．10．29	モニタリング調査	通水一ヶ月後	確認されず
22．11．14	モニタリング調査	通水一ヶ月半後	確認されず
22．11．29	モニタリング調査	通水二ヶ月後	確認されず
22．12．1	通水停止		－
23．4．15	モニタリング調査	春の通水前	確認されず
23．4．19	通水再開		－
23．4．22	モニタリング調査	春の通水後	確認されず
23．7．20	モニタリング調査	活動活性期	確認されず
23．9．8	モニタリング調査	夏の利用後	確認

■「コモチカワツボ」生息分布モニタリング調査結果

【参考資料−2】

■実施目的　・コモチカワツボの再侵入の有無を確認することを目的に実施
■実施日　・平成23年　9月　8日(木)
■実施箇所　・水辺の楽校(右岸)周辺　(No.1～No.15)
■実施内容　・水辺の楽校(右岸)せせらぎ水路：水路部、水際積石部、草地部における円柱管を用いた定量的採集(No.2～No.9の計8地点)
・その他の箇所　：目視およびタモ網捕獲
■調査結果の概要　・コモチカワツボは15地点中2箇所で生体が確認された。
・せせらぎ水路には、ユスリカ科幼虫、ミミズ類、コカゲロウ科幼虫の生息が確認された。

